

作物統計調査

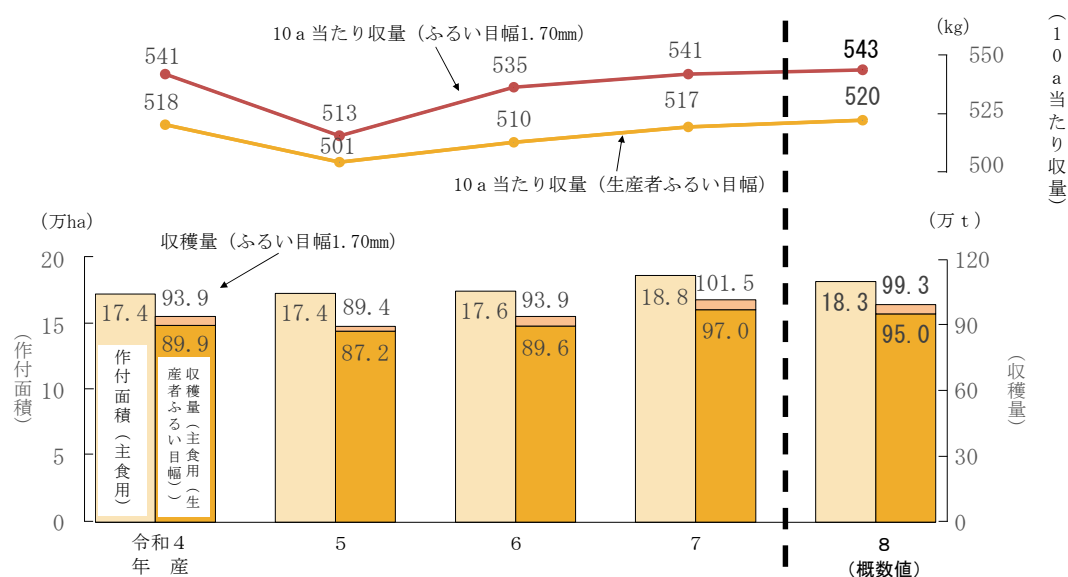
令和8年産水稻の作付面積及び9月25日現在の予想収穫量（北陸）

**令和8年産主食用米の予想収穫量（生産者ふりい目幅ベース）は
95万200tで、前年産に比べ2万100t減少の見込み**

【調査結果の概要】

- 1 令和8年産水稻の作付面積（青刈り面積を含む。）は20万8,500ha（前年産に比べ2,600ha増加）と見込まれる。このうち主食用作付面積は18万3,000ha（前年産に比べ4,700ha減少）と見込まれる。
- 2 9月25日現在における10a当たり予想収量（生産者ふりい目幅ベース※）は520kg（前年産に比べ3kg増加）と見込まれる。
※ 令和8年産の生産者が使用しているふりい目幅は、新潟県は1.85mm、富山県、石川県及び福井県は1.90mm
- 3 主食用作付面積に10a当たり予想収量を乗じた生産者ふりい目幅ベースの予想収穫量（主食用）は95万200t（前年産に比べ2万100t減少）と見込まれる。
- 4 北陸の作況単収指数は102と見込まれる。
- 5 なお、ふりい目幅1.70mmベースの10a当たり予想収量は543kg（前年産に比べ2kg増加）と見込まれ、予想収穫量（主食用）は99万2,800t（同2万2,200t減少）と見込まれる。

図1 水稻の作付面積（主食用）、10a当たり収量及び収穫量の推移（北陸）



- 作付面積（青刈り面積を含む。）とは、青刈り面積を含めた水稻全体の作付面積である。
主食用作付面積とは、作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた面積である。（8ページの【参考1のI】参照）
- 10a当たり予想収量及び予想収穫量は、収穫を終えた地域では刈取り実測による結果であるが、一部収穫を終えていない地域ではもみ数等を実測し、その後の登熟については気象が平年並みに推移するものとして推定した結果である。したがって、今後の気象条件等により変動することがある。

◎ 累年データ

水稻の年次別推移（北陸）

年 産	作 付 面 積 (青刈り面積を含む。)		生産者が使用している ふるい目幅で選別				ふるい目幅 1.70mmで選別			作況単収 指数 (生産者ふるい目幅)
			主食用	10 a 当たり 収 量	対前年比	収 穫 量 (主食用(生産者 ふるい上米))	10 a 当たり 収 量	対前年比	収 穫 量 (主食用(生産者 ふるい下米含む))	
	ha	ha	kg	%	t	kg	%	t		
平成28年産	213,400	182,100	553	108	1,005,000	567	107	1,031,000	…	
29	212,500	180,100	509	92	916,400	529	93	952,100	…	
30	212,700	184,800	508	100	938,000	533	101	985,300	…	
令和元	212,800	186,400	526	104	980,000	540	101	1,007,000	…	
2	212,300	185,900	531	101	984,600	550	102	1,021,000	103	
3	211,500	177,900	505	95	899,100	531	97	944,600	97	
4	209,900	173,500	518	103	898,700	541	102	938,800	101	
5	208,300	174,000	501	97	872,200	513	95	894,000	97	
6	205,300	175,800	510	102	896,000	535	104	938,800	99	
7	205,900	187,700	517	101	970,300	541	101	1,015,000	101	
8 (概数値)	208,500	183,000	520	101	950,200	543	100	992,800	102	

- 注：1 作付面積（青刈り面積を含む。）とは、青刈り面積を含めた水稻全体の作付面積である。
2 主食用作付面積とは、作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた面積である。
3 生産者が使用しているふるい目幅で選別された10 a 当たり収量及び収穫量（主食用（生産者ふるい上米））は、生産者が使用しているふるい目幅で選別された玄米の重量である。
4 生産者が使用しているふるい目幅は、以下による。

平成28年産から令和元年産まで	北陸地域で過去5か年に生産者が使用したふるい目幅の分布において、大きいものから数えて9割を占めるまでの目幅である。
令和2年産以降	各県ごとに、過去5か年に生産者が使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅である。

- 5 収穫量（主食用）として公表していたふるい目幅1.70mmの収穫量（主食用）は、令和7年産以降、収穫量（主食用（生産者ふるい下米含む））と表記することとした。
6 作況単収指数は、当年産に生産者が使用しているふるい目幅を基準とし、各年における前年産までの5か年中3年平均（最高、最低除く）に対する10 a 当たり収量の比率を算出。
7 「…」は、事実不詳又は調査を欠くことを示している。

◎ 県別累年データ

水稻の年次別推移（新潟県）

年 産	作 付 面 積 (青刈り面積を含む。)		生産者が使用している ふるい目幅で選別				ふるい目幅 1.70mmで選別			作況単収 指数 (生産者ふるい目幅)
			主食用	10 a 当たり 収 量	対前年比	収 穫 量 (主食用 (生産者 ふるい上米))	10 a 当たり 収 量	対前年比	収 穫 量 (主食用 (生産者ふるい下米含む))	
	ha	ha	kg	%	t	kg	%	t		
平成28年産	121,300	101,500	565	111	573,500	581	110	589,700	…	
29	120,900	100,300	505	89	506,500	526	91	527,600	…	
30	121,500	104,700	500	99	523,500	531	101	556,000	…	
令和元	121,900	106,800	530	106	566,000	542	102	578,900	…	
2	121,800	106,700	542	102	578,300	558	103	595,400	105	
3	121,400	101,800	507	94	516,100	529	95	538,500	96	
4	121,100	99,900	525	104	524,500	544	103	543,500	102	
5	120,400	100,600	502	96	505,000	511	94	514,100	96	
6	119,800	101,400	515	103	522,200	536	105	543,500	99	
7	119,700	108,600	525	102	570,200	542	101	588,600	102	
8 (概数値)	120,000	104,400	521	99	543,900	537	99	560,600	101	

- 注：生産者が使用しているふるい目幅は平成28年産～令和8年産は1.85mm。
なお、各県の作況単収指数(生産者ふるい目幅)の算出に用いた過去の10a 当たり収量及び5中3平均値は、【統計表】【参考】各県の各年作況単収指数算出に必要な10a 当たり収量データに記載している(以下同じ。)

◎県別累年データ（続き）

水稻の年次別推移（富山県）

年 産	作 付 面 積 (青刈り面積を含む。)		生産者が使用している ふるい目幅で選別				ふるい目幅 1.70mmで選別			作況単収 指数 (生産者ふるい目幅)
			主食用	10 a 当たり 収 量	対前年比	収 穫 量 (主食用 (生産者ふるい上米))	10 a 当たり 収 量	対前年比	収 穫 量 (主食用 (生産者ふるい下米含む))	
	ha	ha	kg	%	t	kg	%	t		
平成28年産	39,300	33,800	555	102	187,600	566	101	191,300	…	
29	39,100	33,300	528	95	175,800	546	96	181,800	…	
30	38,900	33,300	535	101	178,200	552	101	183,800	…	
令和元	38,900	33,300	540	101	179,800	553	100	184,100	…	
2	38,900	33,200	535	99	177,600	556	101	184,600	102	
3	38,700	32,200	515	96	165,800	551	99	177,400	98	
4	38,100	31,300	523	102	163,700	556	101	174,000	101	
5	37,800	31,200	511	98	159,400	528	95	164,700	98	
6	37,400	31,200	515	101	160,700	540	102	168,500	99	
7	37,600	33,700	512	99	172,500	547	101	184,300	99	
8 (概数値)	38,700	33,400	529	103	176,700	567	104	189,400	103	

注：生産者が使用しているふるい目幅は平成28年産～令和元年産は1.85mm、令和2年産～8年産は1.90mm。

水稻の年次別推移（石川県）

年 産	作 付 面 積 (青刈り面積を含む。)		生産者が使用している ふるい目幅で選別			ふるい目幅 1.70mmで選別			作況単収 指数 (生産者ふるい目幅)
			主食用	10 a 当たり 収 量	対前年比	収 穫 量 (主食用(生産者ふるい上米))	10 a 当たり 収 量	対前年比	
	ha	ha	kg	%	t	kg	%	t	
平成28年産	26,400	23,200	525	103	121,800	534	102	123,900	…
29	26,100	23,200	504	96	116,900	519	97	120,400	…
30	25,800	23,200	507	101	117,600	519	100	120,400	…
令和元	25,600	22,700	515	102	116,900	532	103	120,800	…
2	25,400	22,600	515	100	116,400	530	100	119,800	101
3	25,200	21,400	512	99	109,600	527	99	112,800	100
4	24,900	20,700	515	101	106,600	532	101	110,100	101
5	24,600	20,800	508	99	105,700	518	97	107,700	99
6	22,900	21,200	495	97	104,900	521	101	110,500	99
7	23,200	22,100	507	102	112,000	532	102	117,600	101
8 (概数値)	23,600	21,300	516	102	109,900	541	102	115,200	103

注：生産者が使用しているふるい目幅は平成28年産～令和5年産は1.85mm、令和6年産～8年産は1.90mm。

水稻の年次別推移（福井県）

年 産	作 付 面 積 (青刈り面積を含む。)		生産者が使用している ふるい目幅で選別			ふるい目幅 1.70mmで選別			作況単収 指数 (生産者ふるい目幅)
			主食用	10 a 当たり 収 量	対前年比	収 穫 量 (主食用（生産者ふるい上米）)	10 a 当たり 収 量	対前年比	
	ha	ha	kg	%	t	kg	%	t	
平成28年産	26,300	23,600	518	105	122,200	535	103	126,300	…
29	26,300	23,300	503	97	117,200	525	98	122,300	…
30	26,400	23,600	503	100	118,700	530	101	125,100	…
令和元	26,400	23,600	497	99	117,300	520	98	122,700	…
2	26,200	23,300	482	97	112,300	518	100	120,700	99
3	26,100	22,500	478	99	107,600	515	99	115,900	98
4	25,700	21,600	481	101	103,900	515	100	111,200	100
5	25,500	21,500	475	99	102,100	500	97	107,500	99
6	25,200	21,900	494	104	108,200	531	106	116,300	103
7	25,400	23,300	496	100	115,600	532	100	124,000	103
8 (概数値)	26,200	23,900	501	101	119,700	534	100	127,600	104

注：生産者が使用しているふるい目幅は平成28年産～令和元年産は1.85mm、令和2年産～8年産は1.90mm。

【調査結果】

- 令和8年産水稻の作付面積（青刈り面積を含む。以下同じ。）は20万8,500ha（前年産に比べ2,600ha増加）と見込まれる。これは、他作物からの転換により増加したためである。
また、主食用作付面積は18万3,000ha（同4,700ha減少）と見込まれる。これは、備蓄米等への転換が進んだことにより減少したためである。
- 10a当たり予想収量（生産者ふりい目幅ベース）は、520kg（前年産に比べ3kg増加）と見込まれる。
これを県別にみると、新潟県は521kg（同4kg減少）、富山県は529kg（同17kg増加）、石川県は516kg（同9kg増加）、福井県は501kg（同5kg増加）と見込まれる。
- 主食用作付面積に10a当たり予想収量を乗じた生産者ふりい目幅ベースの予想収穫量（主食用）は95万200t（前年産に比べ2万100t減少）と見込まれる。
- 北陸の作況単収指数は102と見込まれる。これを県別にみると、新潟県は101、富山県は103、石川県は103、福井県は104と見込まれる。
- なお、ふりい目幅1.70mmベースの10a当たり予想収量は543kg（前年産に比べ2kg増加）と見込まれ、予想収穫量（主食用）は99万2,800t（同2万2,200t減少）と見込まれる。

表 令和8年産水稻の作付面積及び9月25日現在の予想収穫量

区 分	作付面積（青刈り面積を含む）			作付面積（主食用）			生産者が使用しているふりい目幅で選別					
	実 数		前年産との比較	実 数 ①		前年産との比較	10 a 当たり 予想収量		予想収穫量 （主食用（生産者ふりい上米））			
							実 数 ②	前年産との比較	実 数 ③=①×②	前年産との比較		
	対 差	対 比	対 差	対 比	対 差	対 比						
	ha	ha	%	ha	ha	%	kg	%	t	t	%	
北 陸	208,500	2,600	101	183,000	△4,700	97	520	101	950,200	△20,100	98	
新 潟 県	120,000	300	100	104,400	△4,200	96	521	99	543,900	△26,300	95	
富 山 県	38,700	1,100	103	33,400	△ 300	99	529	103	176,700	4,200	102	
石 川 県	23,600	400	102	21,300	△ 800	96	516	102	109,900	△ 2,100	98	
福 井 県	26,200	800	103	23,900	600	103	501	101	119,700	4,100	104	

区 分	ふるい目幅1.70mmで選別					主な収量構成要素（前年比較）								作況 単収 指数
	10 a 当たり 予想収量		予想収穫量 （主食用（生産者ふるい下米含む））			1 m ² 当たり 穂数の多少		1 穂当たり もみ数の多少		1 m ² 当たり 全もみ数の多少		千もみ当たり 収量の多少 （登熟）		
	実 数 ④	前年産と の比較	実 数 ⑤＝①×④	前年産との比較	対 差	対 比	本年	前年値	本年	前年値	本年	前年値	本年	
	kg	%	t	t	%		本	粒	100粒	g				
北 陸	543	100	992,800	△22,200	98	多い	367	やや少ない	80.1	やや多い	294	前年並み	18.0	102
新 潟 県	537	99	560,600	△28,000	95	多い	356	少ない	82.3	前年並み	293	前年並み	18.3	101
富 山 県	567	104	189,400	5,100	103	多い	374	やや少ない	78.3	やや多い	293	前年並み	17.8	103
石 川 県	541	102	115,200	△ 2,400	98	やや多い	383	前年並み	76.8	前年並み	294	前年並み	17.6	103
福 井 県	534	100	127,600	3,600	103	多い	398	やや少ない	76.1	やや多い	303	前年並み	16.7	104

- 注：1 主食用作付面積とは、作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた面積である。
- 2 生産者が使用しているふりい目幅で選別された10a当たり予想収量及び予想収穫量（主食用（生産者ふりい上米））は、生産者が使用しているふりい目幅で選別された玄米の重量である。
- 3 生産者が使用しているふりい目幅で選別の10a当たり予想収量については、各県ごとに、過去5か年に生産者が使用したふりい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅で選別された玄米を基に算出した数値である。
- 4 予想収穫量の北陸値については県ごとの積上げ値であるため、表頭の計算は一致しない場合がある。
- 5 主な収量構成要素の前年比較区分は、「多い」が対前年比106%以上、「やや多い」が105～102%、「前年並み」が101～99%、「やや少ない」が98～95%、「少ない」が94%以下に相当する。
- 6 作況単収指数は、生産者が使用しているふりい目幅ベースで算出した10a当たり収量の前年産までの5か年中3年平均（最高、最低除く）に対する10a当たり予想収量の比率である。

【県別の調査結果】

(生産者ふるい目幅ベース、前年産比較)

1 新潟県

- (1) 水稻の作付面積は12万ha（前年産に比べ300ha増加）と見込まれる。
このうち、主食用作付面積は10万4,400ha（同4,200ha減少）と見込まれる。これは、備蓄米等への転換が進んだことにより減少したためである。
- (2) 10a 当たり予想収量は521kg（前年産に比べ4kg減少）と見込まれる。
穂数は、田植期以降の気温及び日照時間がおおむね前年を上回ったことにより、前年産に比べ「多い」となった。1穂当たりもみ数は、穂数が前年産に比べ多いことによる相反作用と7月の日照時間が前年を下回ったことから「少ない」となり、全もみ数（穂数×1穂当たりもみ数。以下同じ。）は「前年並み」となった。千もみ当たり収量（登熟）は「前年並み」と見込まれる。
- (3) 主食用作付面積に10a 当たり予想収量を乗じた予想収穫量（主食用）は54万3,900t（前年産に比べ2万6,300t減少）と見込まれる。
- (4) なお、ふるい目幅1.70mmベースの予想収穫量（主食用）は56万600t（前年産に比べ2万8,000t減少）と見込まれる。

2 富山県

- (1) 水稻の作付面積は3万8,700ha（前年産に比べ1,100ha増加）と見込まれる。
このうち、主食用作付面積は3万3,400ha（同300ha減少）と見込まれる。これは、備蓄米等への転換が進んだことにより減少したためである。
- (2) 10a 当たり予想収量は529kg（前年産に比べ17kg増加）と見込まれる。
穂数は、田植期以降の気温及び日照時間がおおむね前年を上回ったことにより、前年産に比べ「多い」となった。1穂当たりもみ数は、穂数が前年産に比べ多いことによる相反作用から「やや少ない」となり、全もみ数は「やや多い」となった。千もみ当たり収量（登熟）は「前年並み」と見込まれる。
- (3) 主食用作付面積に10a 当たり予想収量を乗じた予想収穫量（主食用）は17万6,700t（前年産に比べ4,200t増加）と見込まれる。
- (4) なお、ふるい目幅1.70mmベースの予想収穫量（主食用）は18万9,400t（前年産に比べ5,100t増加）と見込まれる。

図 2

新潟県の作柄表示地帯別
10a 当たり予想収量

(生産者が使用しているふるい目幅ベース)

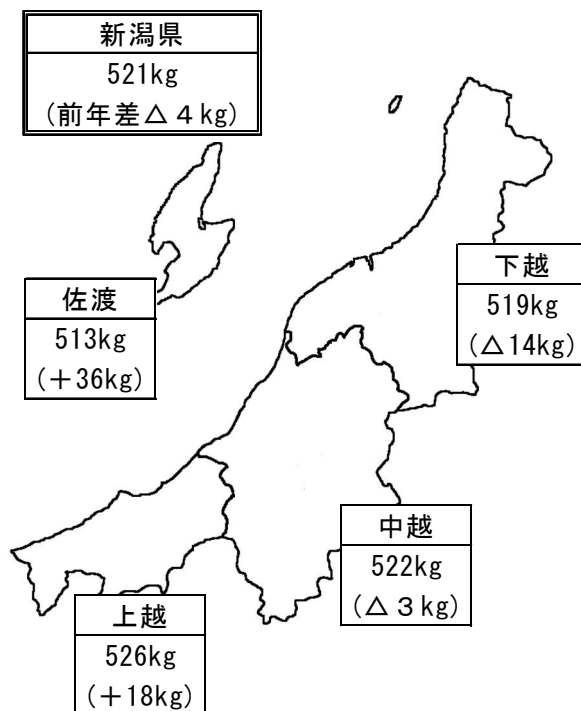
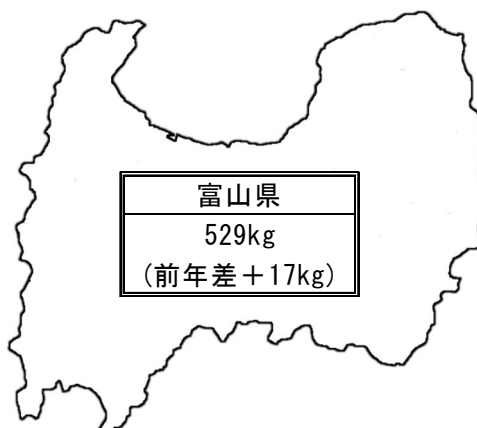


図 3

富山県の10a 当たり予想収量

(生産者が使用しているふるい目幅ベース)



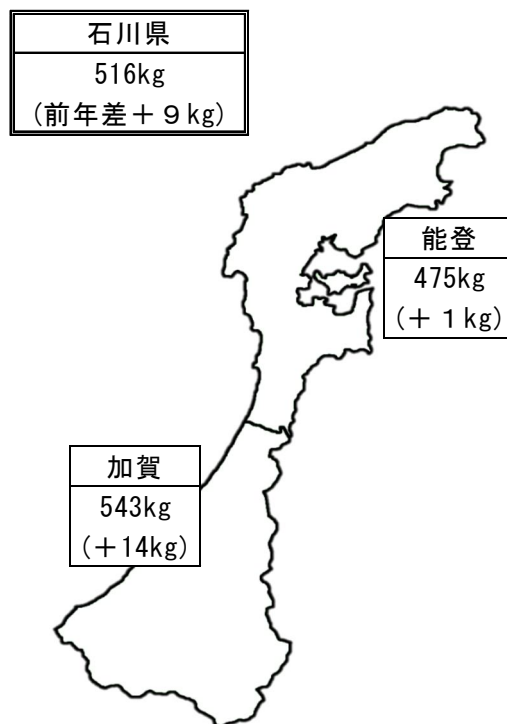
3 石川県

- (1) 水稻の作付面積は2万3,600ha（前年産に比べ400ha増加）と見込まれる。
このうち、主食用作付面積は2万1,300ha（同800ha減少）と見込まれる。これは、備蓄米等への転換が進んだことにより減少したためである。
- (2) 10a 当たり予想収量は516kg（前年産に比べ9kg増加）と見込まれる。
穂数は、田植期以降の気温及び日照時間がおおむね前年を上回ったことにより、前年産に比べ「やや多い」となった。1穂当たりもみ数は「前年並み」となり、全もみ数は「前年並み」となった。千もみ当たり収量（登熟）は「前年並み」と見込まれる。
- (3) 主食用作付面積に10a 当たり予想収量を乗じた予想収穫量（主食用）は10万9,900t（前年産に比べ2,100t 減少）と見込まれる。
- (4) なお、ふるい目幅1.70mmベースの予想収穫量（主食用）は11万5,200t（前年産に比べ2,400t 減少）と見込まれる。

図 4

石川県の作柄表示地帯別
10a 当たり予想収量

（生産者が使用しているふるい目幅ベース）



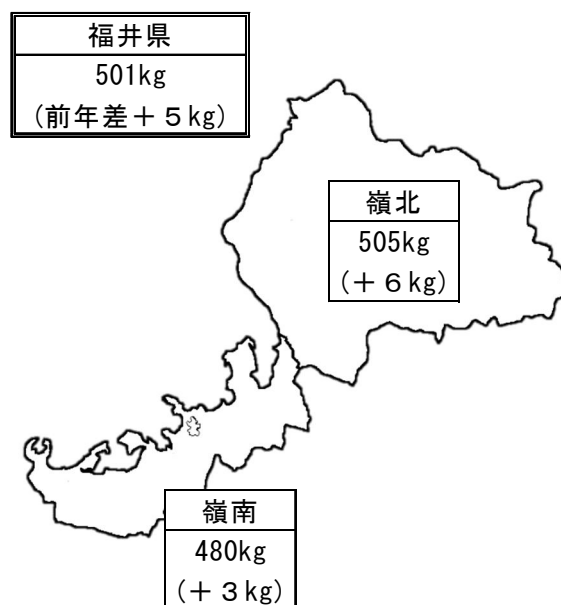
4 福井県

- (1) 水稻の作付面積は2万6,200ha（前年産に比べ800ha増加）と見込まれる。
このうち、主食用作付面積は2万3,900ha（同600ha増加）と見込まれる。これは、他作物からの転換により増加したためである。
- (2) 10a 当たり予想収量は501kg（前年産に比べ5kg増加）と見込まれる。
穂数は、田植期以降の気温及び日照時間がおおむね前年を上回ったことにより、前年産に比べ「多い」となった。1穂当たりもみ数は、穂数が前年産に比べ多いことによる相反作用から「やや少ない」となり、全もみ数は「やや多い」となった。千もみ当たり収量（登熟）は「前年並み」と見込まれる。
- (3) 主食用作付面積に10a 当たり予想収量を乗じた予想収穫量（主食用）は11万9,700t（前年産に比べ4,100t 増加）と見込まれる。
- (4) なお、ふるい目幅1.70mmベースの予想収穫量（主食用）は12万7,600t（前年産に比べ3,600t 増加）と見込まれる。

図 5

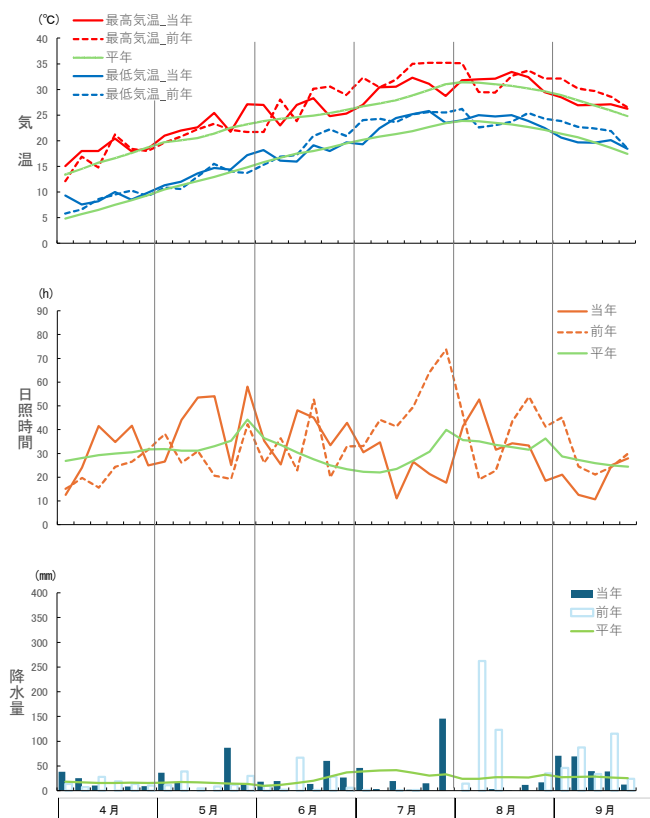
福井県の作柄表示地帯別
10a 当たり予想収量

（生産者が使用しているふるい目幅ベース）

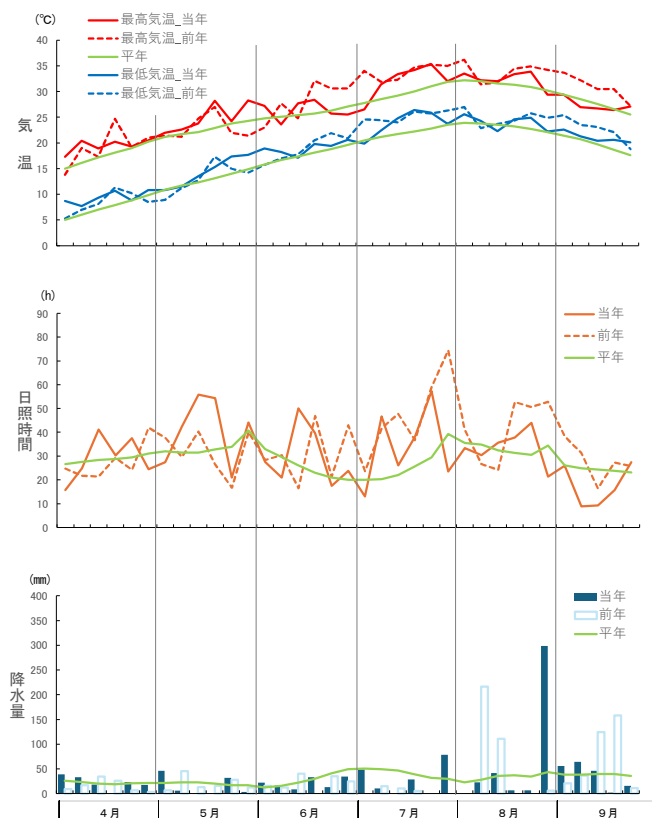


◎関連データ 令和8年アメダス半旬別気象グラフ

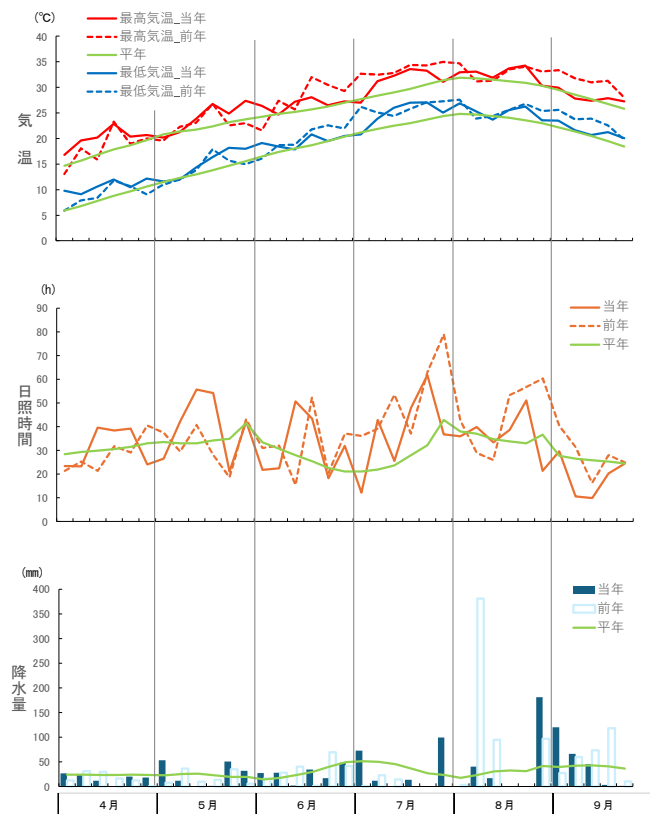
1 新潟



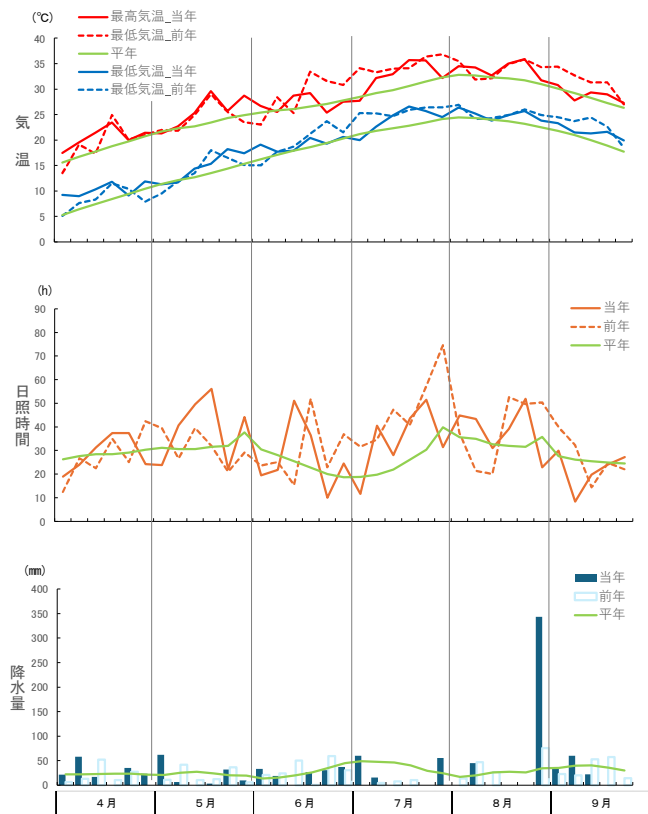
2 富山



3 金沢

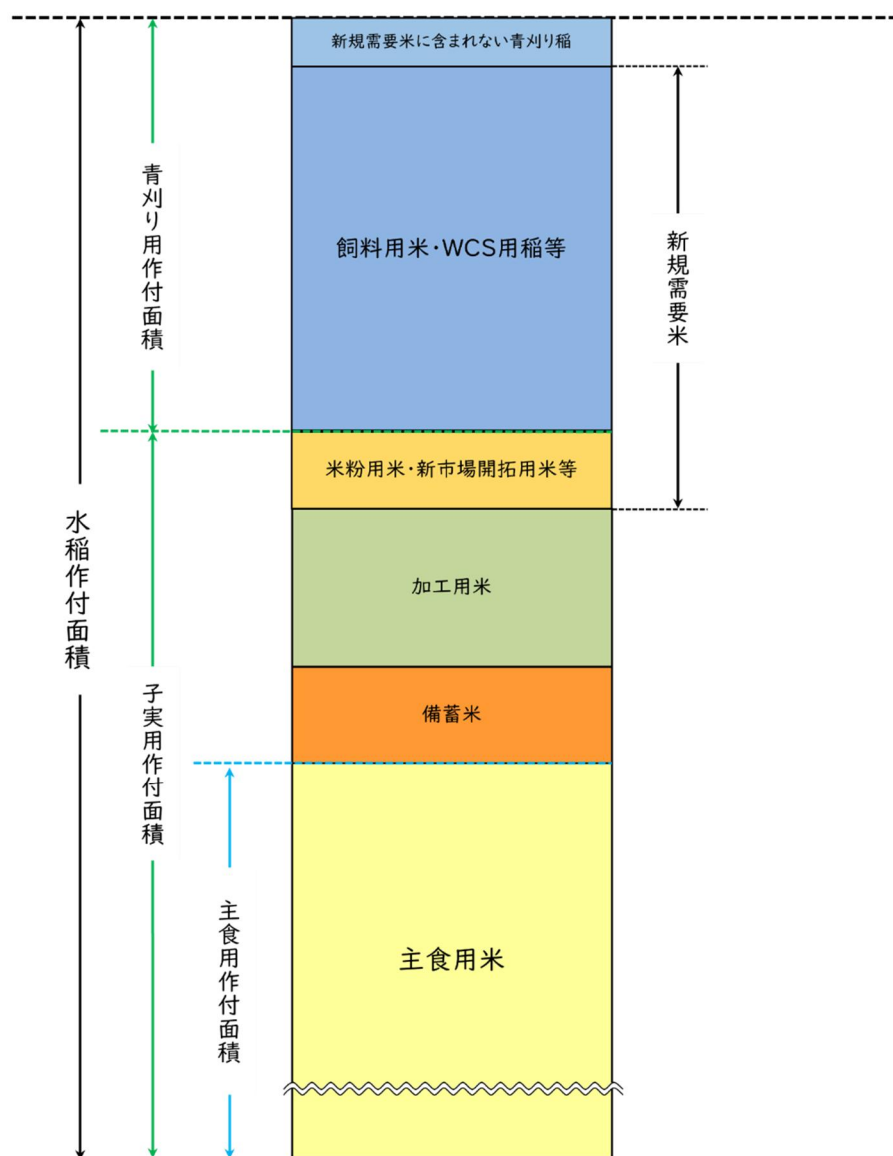


4 福井

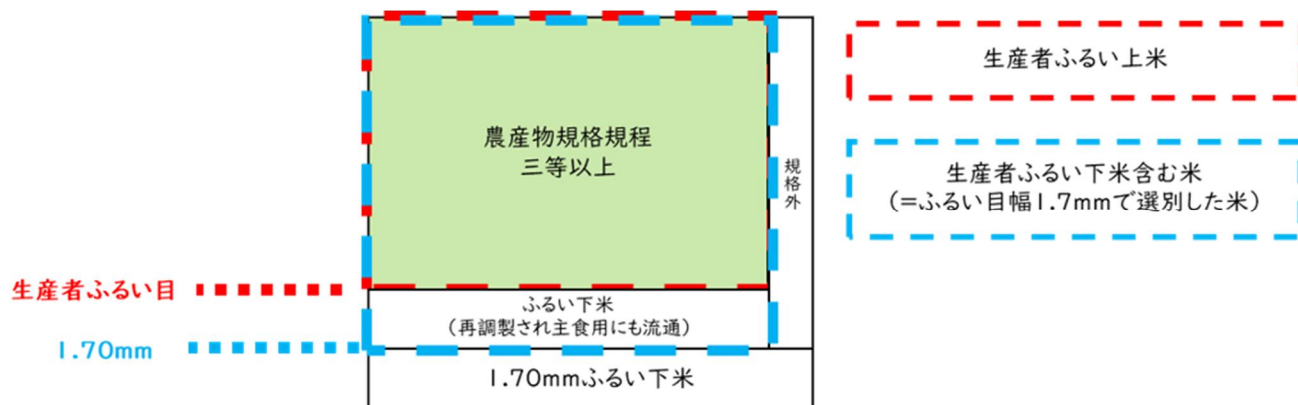


【参考 1】

I 水稻作付面積の概念図



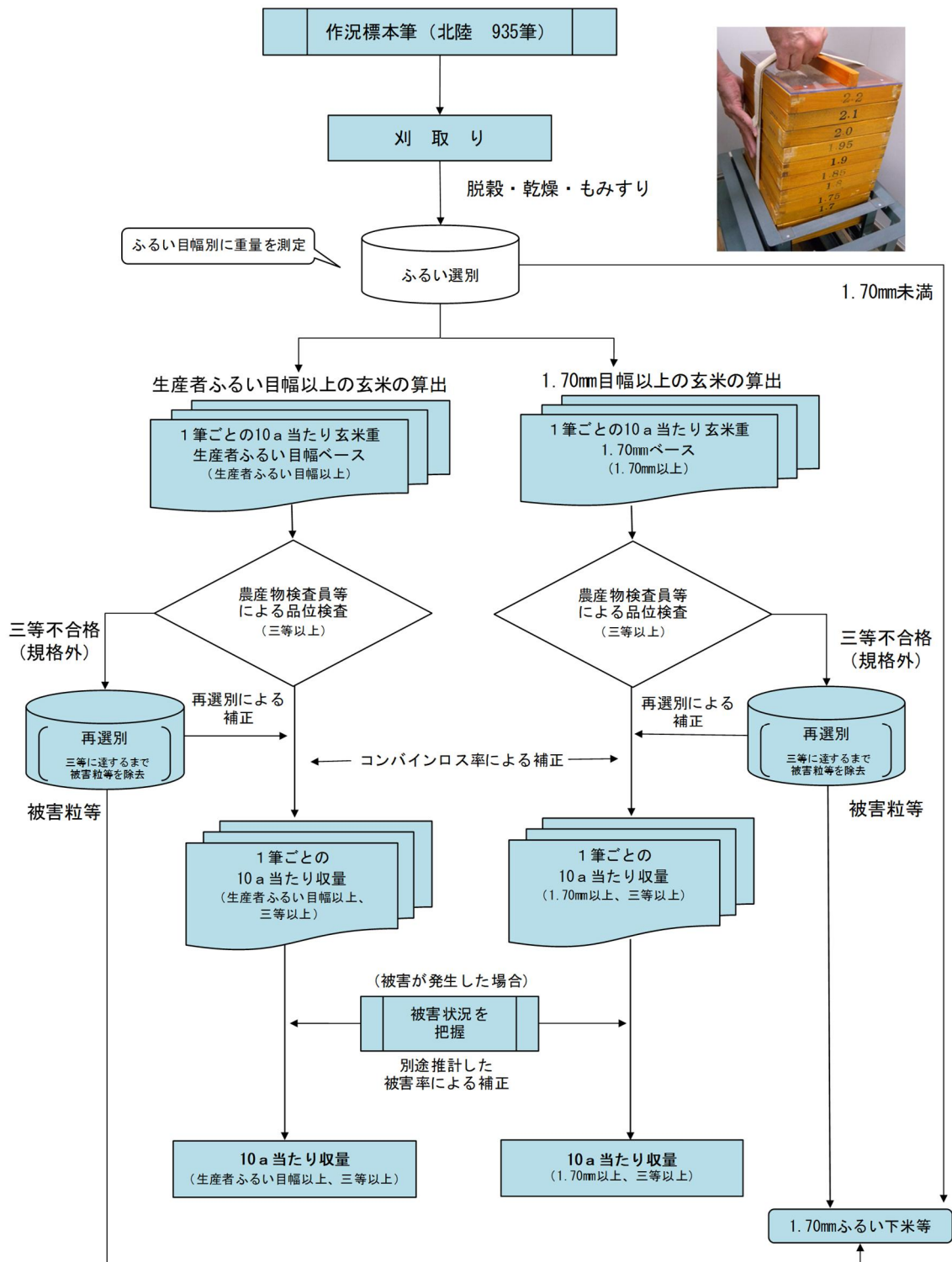
II 10a 当たり収量及び収穫量の概念図



【参考 2】

刈取り調査における 10 a 当たり収量の算出方法

作況標本筆（【参考 3】参照）ごとに一定面積の稲を刈取り、農産物規格規程に定める三等の品位以上に相当するよう選別を行い、その重さを計測し、コンバインロス率及び被害率による補正を行い 10 a 当たり収量を算出している（下図参照）。

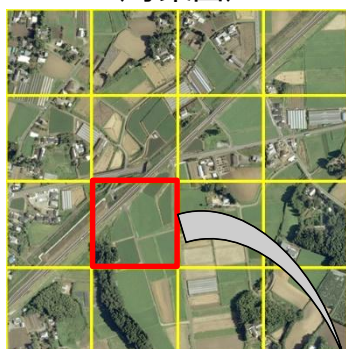


【参考3】

作況^{ふで}標本筆とは

収穫量の実測調査の対象とした作況標本筆（1枚のほ場を筆と呼ぶ。）は、各都道府県の水稲の状況が把握できるように、標本理論に基づいて次のように各地で選定し（北陸で935筆）調査している。

全国の全ての土地
（母集団）



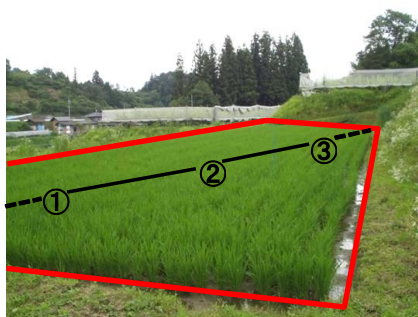
- 1 全国の全ての土地を200m四方（北海道は、400m四方）に区切って編成した単位区のうち、水田が含まれる単位区を調査母集団とし、その中から、無作為抽出法（人間の恣意を排したくじ引きのような選び方）により「標本単位区」を選んでいる。

標本単位区
（200m 四方の土地）



- 2 標本単位区の中から無作為に1枚の水田ほ場を選び、「作況標本筆」としている。

作況標本筆
（北陸で935筆）



- 3 各作況標本筆の対角線上の3か所（①、②、③）を実測調査箇所として、調査箇所ごとに1㎡（合計3㎡）分のサンプル採取（坪刈り）を行っている。

【統計表】

https://www.maff.go.jp/hokuriku/stat/data/xlsx/suitou_20260925.xlsx

【調査の概要】

・ 面積調査

<https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/menseki/gaiyou/>

・ 作況調査（水陸稲、麦類、大豆、そば、かんしょ、飼料作物、工芸農作物）

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/gaiyou/

【水稻調査結果の主な利活用】

- ・ 主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律（平成6年法律第113号）に基づき毎年定めることとされている米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針の策定のための資料
- ・ 「食料・農業・農村基本計画」における品目ごとの生産量や作付面積等のKPIの設定及び検証のための資料
- ・ 米・畑作物の収入減少影響緩和対策（ナラシ対策）の交付金算定のための資料
- ・ 農業保険法（昭和22年法律第185号）に基づく農作物共済事業の適切な運営のための資料

【ホームページ掲載案内】

- ・ 全国版は農林水産省ホームページの統計情報に掲載している分野別分類「作付面積・生産量、家畜の頭数など」、品目別分類「米」の「作況調査（水陸稲、麦類、大豆、そば、かんしょ、飼料作物、工芸農作物）」で御覧いただけます。

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/#y3

- ・ 本資料のうち、作付面積は概数値であり、確定した詳細な数値は、ホームページに掲載（令和9年2月予定）します。
- ・ 次回（10月25日現在）の公表は、令和8年11月中旬の予定です。
- ・ 公表した数値の正誤情報は、ホームページでお知らせします。

【関連リンク】

農業生産振興関係ページ：農林水産省＞組織別から探す＞農産局

<https://www.maff.go.jp/j/nousan/>

病害虫に関する情報：農林水産省＞組織別から探す＞消費・安全局＞病害虫の防除に関する情報

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/>

※ 上記リンクでは、病害虫の防除に関する情報として、総合防除の推進や発生予察事業による病害虫の発生予測等について掲載しています。

なお、「植物防疫年報」として公開している病害虫の発生面積は病害虫の発生予測の参考として調査を行っているもので、農作物の作付面積、収量等の調査を行っている作物統計調査とは調査目的や調査方法等が異なります。

お問合せ先

◎本統計調査結果について

連絡先：北陸農政局 統計部
生産流通消費統計課

電 話：（代表）076-263-2161 内線 3646
（直通）076-232-4895

連絡先：北陸農政局統計部（新潟県担当）
電 話：025-224-1441

連絡先：北陸農政局統計部（富山県担当）
電 話：076-441-0340

連絡先：北陸農政局統計部（石川県担当）
電 話：076-241-3175

連絡先：北陸農政局統計部（福井県担当）
電 話：0776-22-3676

◎農林水産統計全般について

連絡先：北陸農政局 統計部
統計企画課 企画係

電 話：（代表）076-263-2161 内線 3622
（直通）076-232-4892



政府統計

政府統計の総合窓口
(e-Stat)

<https://www.e-stat.go.jp/>



2027年国際園芸博覧会
2027.3.19-9.26 横浜・上瀬谷



○オンラインコミュニティ「みのりボイス」の開設について

水稻生産者や関係機関の皆様が参加できるオンラインコミュニティ「みのりボイス」を開設しました。生産者・農業関係者ならどなたでも参加でき、皆様から共有いただいた全国各地の生育状況や被害情報などを地図上で確認できるほか、農業ニュースや気象情報も閲覧でき、日々の営農判断にもご活用いただけます。

以下の URL または右側の二次元コードから、ぜひご参加ください。

<https://minori-voice.maff.go.jp/lp/>



○水稻収穫量調査の試行調査について

一部の水稻生産者の方を対象に水稻収穫量調査の試行調査を実施しております。

調査時期 令和8年9月、10月、11月の3回

調査方法 統計調査員による聞き取り、オンライン、郵送のいずれか

オンライン、郵送調査は農林水産省作物統計調査第2次試行調査事務局により実施します。

お忙しいところ大変お手数をおかけしますが、ご協力をお願いいたします。